

2024年7月25日

株式会社日本政策金融公庫

第221回 信用保証利用企業動向調査結果の概要

(2024年4～6月期実績、2024年7～9月期見通し)

**[概況] 信用保証利用企業の資金繰りは、やや改善している。
～景況は、持ち直しの動きが緩やかになっている～**

(前回)[概況] 信用保証利用企業の資金繰りは、やや改善している。景況は、持ち直しの動きがみられる

- 【金融関連】 ○ 資金繰りD.I.は、▲10.9(▲13.9)とマイナス幅がやや縮小した。 ()は前期値
○ 借入難易感D.I.は、▲5.0(▲8.5)とマイナス幅がやや縮小した。
○ 今期に借入を実施した企業の割合は、やや減少した。
- 【保証利用】 ○ 今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、やや増加した。
○ 来期(2024年7～9月)における保証利用要請D.I.は、0.4(▲1.5)とやや増加した。
※ 保証利用要請D.I. …金融機関による保証利用要請が「強くなると思う」企業の割合－「弱くなると思う」企業の割合。
- 【生産等】 ○ 生産・売上D.I.は、▲3.7(▲4.7)とマイナス幅がやや縮小した。
○ 採算D.I.は、▲12.1(▲12.9)と横ばいとなった。

【特別調査】「経営環境において直面している課題及び信用保証協会による専門家派遣事業について」

- 経営環境において直面している課題については、「人手不足、人件費上昇」が59.1%と最も多くなっている。
- 専門家派遣事業の認知度については、「知っている」が18.1%となっている。
- 専門家派遣事業の利用状況については、「利用あり」が4.3%、「今後利用したい」が21.2%となっている。
- 専門家派遣事業の利用状況別に今後期待することをみると、利用あり企業、今後利用したい企業及び利用なし企業ともに、「支援内容の詳しい紹介」が最も多くなっている。

＜調査の要領＞	調査時点	2024年6月中旬
	調査方法	郵送またはWebによるアンケート調査
	調査対象	9地域(北海道、宮城、東京、愛知、石川、大阪、広島、香川、福岡)の信用保証協会利用先 16,000企業を対象としており、 回答企業の約85%が従業員20人以下の小規模企業 となっています。
	有効回答企業数	4,533企業(回答率 28.3%)

＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 保険情報室 きどころ Tel:03-3270-2384(担当:城所、今泉、大羽、岩松)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

資料編につきましては[こちら](#)をご覧ください。

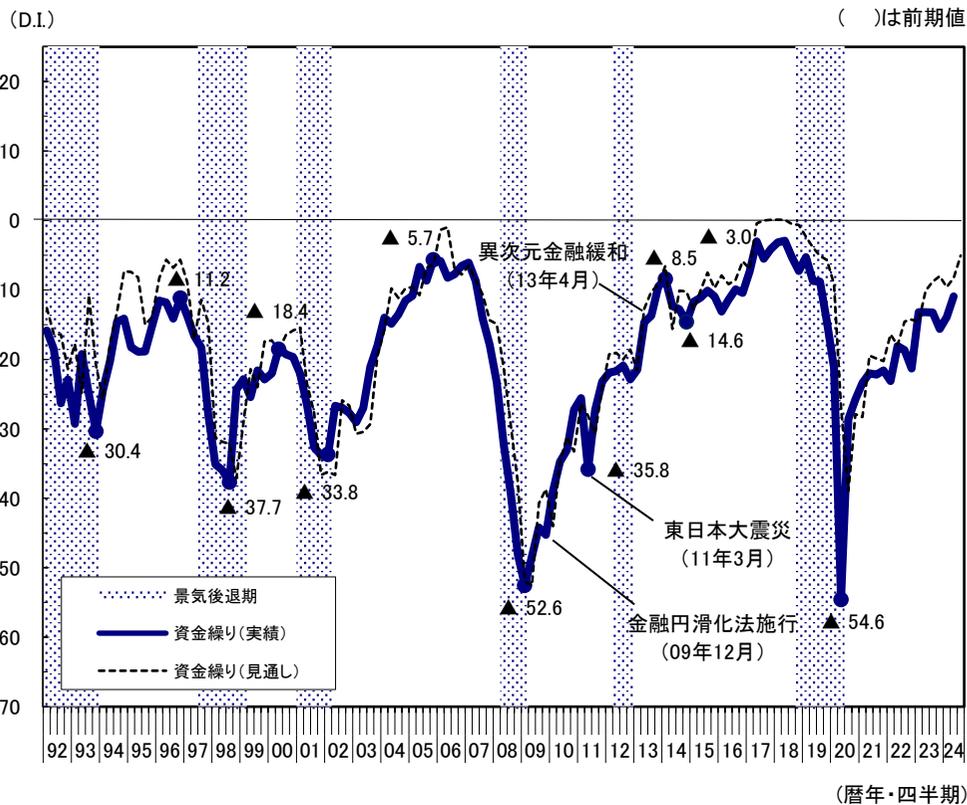
(1) 資金繰り

・資金繰りD.I.は、▲10.9とマイナス幅がやや縮小した。
来期の見通しについては、▲5.0となっている。

		2023/4-6	7-9	10-12	2024/1-3	4-6	7-9
資金繰りD.I.	実績	▲13.2	▲13.3	▲15.6	▲13.9	▲10.9	
	見通し	▲10.1	▲8.8	▲8.0	▲9.6	▲8.3	▲5.0

(注) 前期比。資金繰りD.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

資金繰りD.I.(季節調整値)の推移



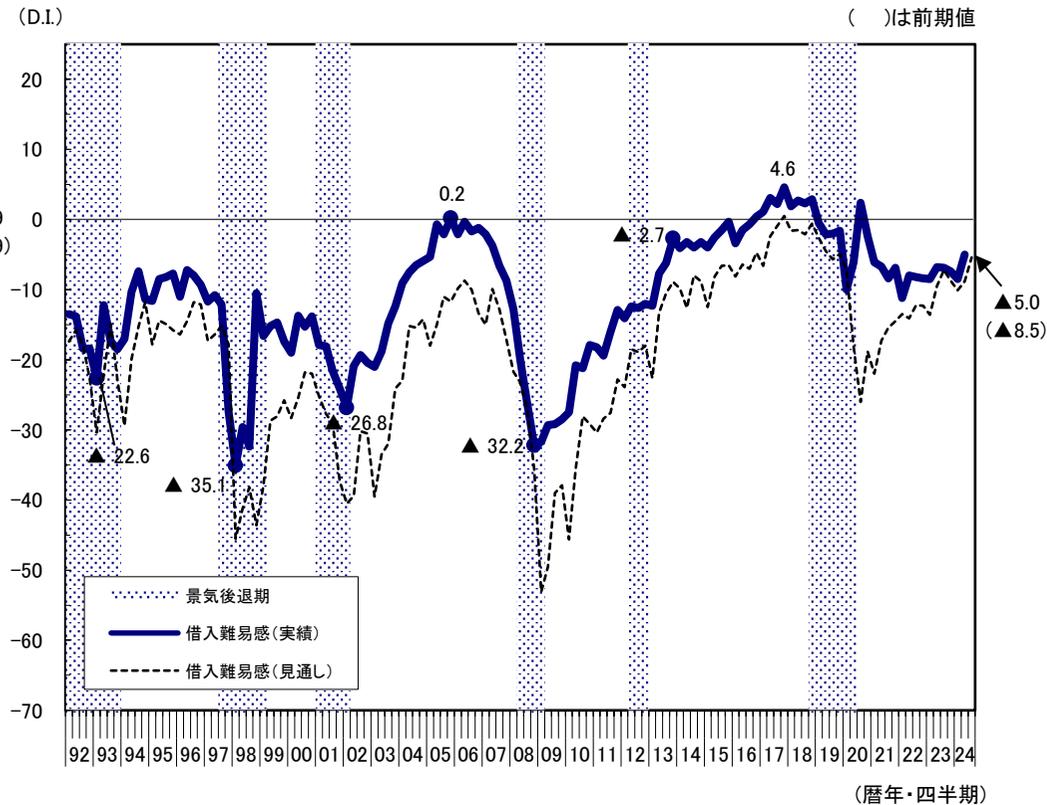
(2) 借入難易感

・借入難易感D.I.は、▲5.0とマイナス幅がやや縮小した。
来期の見通しについては、▲5.4となっている。

		2023/4-6	7-9	10-12	2024/1-3	4-6	7-9
借入難易感D.I.	実績	▲6.8	▲6.9	▲7.4	▲8.5	▲5.0	
	見通し	▲9.5	▲7.2	▲8.7	▲10.1	▲8.8	▲5.4

(注) 前期比。借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

借入難易感D.I.の推移



(3) 借入状況

・今期に借入を実施した企業の割合は、やや減少した。

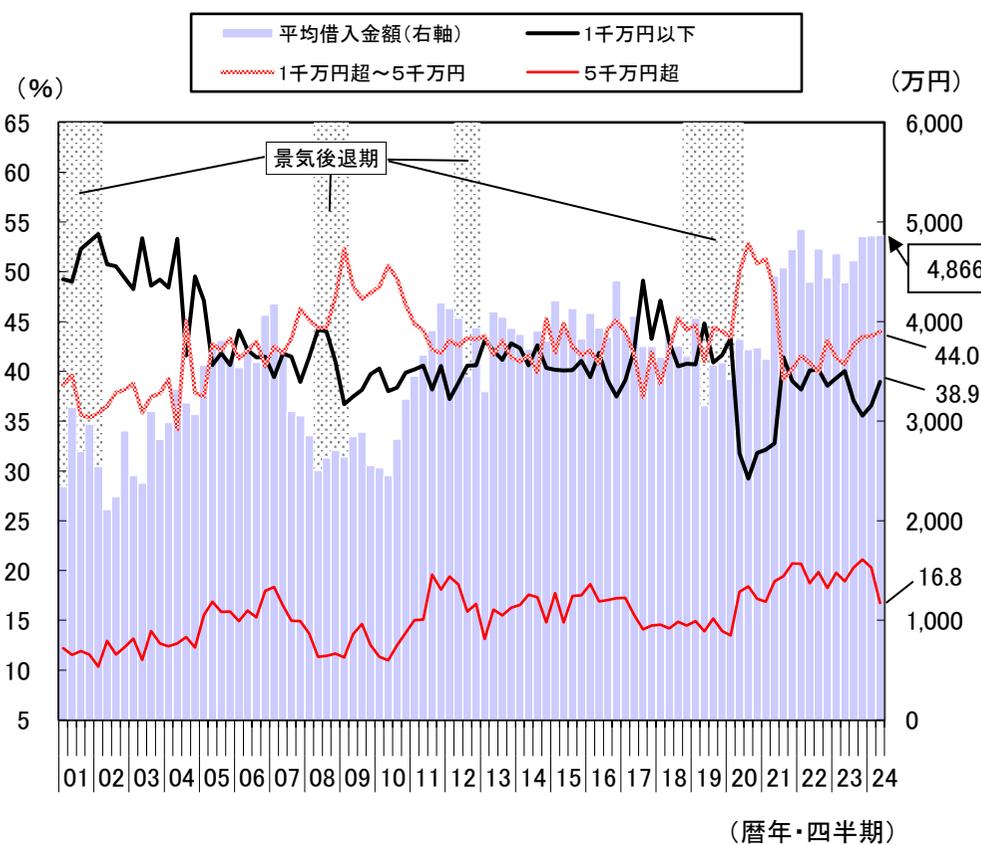
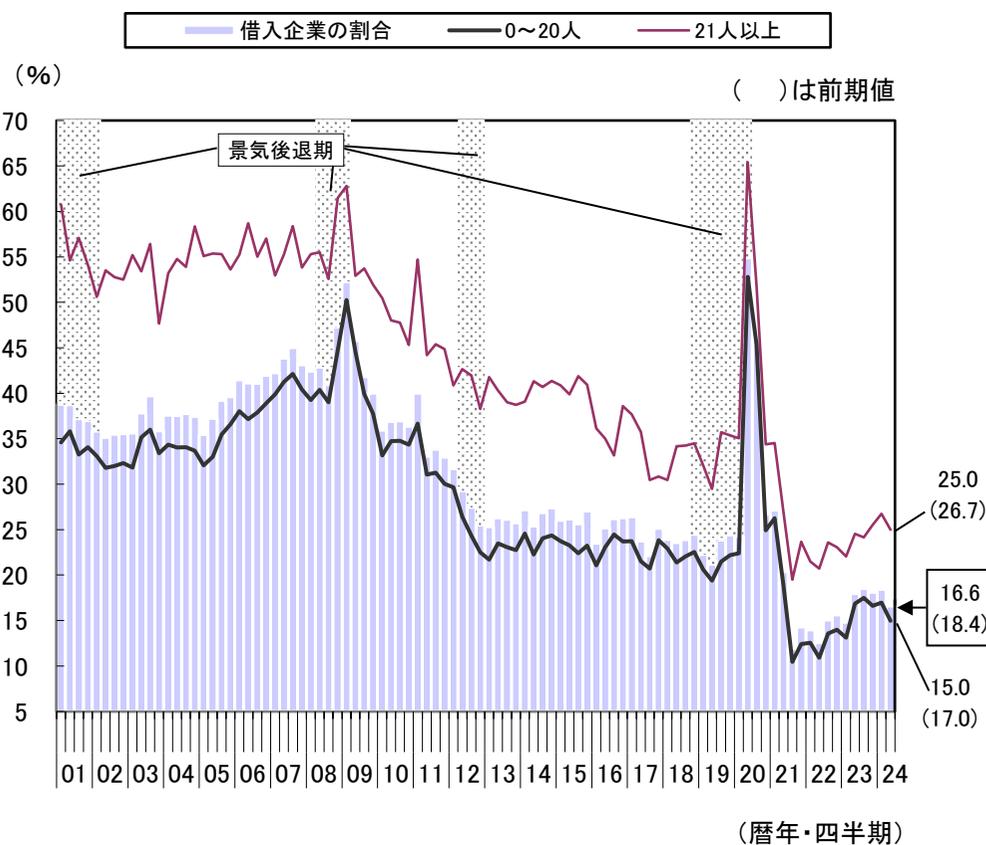
・一社あたりの借入金額別構成比は、「1千万円以下」がやや増加した一方で、「5千万円超」がやや減少した。

① 借入を実施した企業の割合(季節調整値)

	2023/4-6	7-9	10-12	2024/1-3	4-6
借入企業の割合	17.9	18.5	18.1	18.4	16.6
0-20人	16.9	17.5	16.6	17.0	15.0
21人以上	24.5	24.2	25.5	26.7	25.0

② 一社あたりの借入金額別構成比(季節調整値)

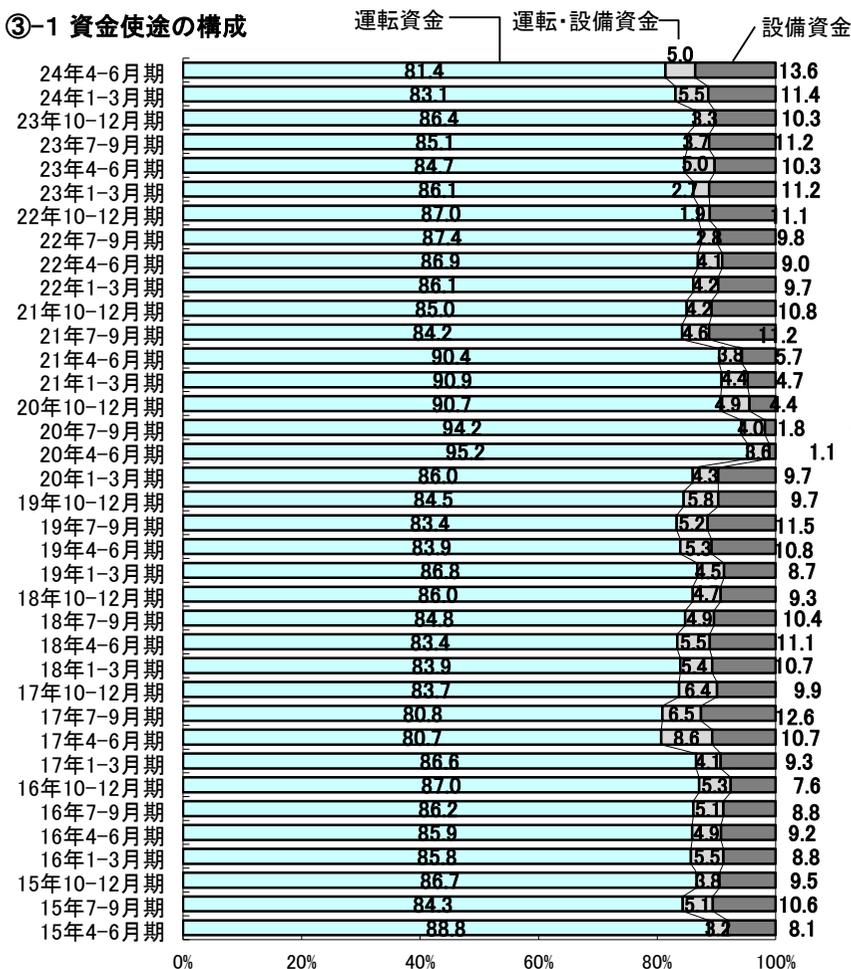
	2023/4-6	7-9	10-12	2024/1-3	4-6
1千万円以下	40.0	37.0	35.5	36.6	38.9
1千万円超～5千万円	40.7	42.7	43.4	43.5	44.0
5千万円超	18.9	20.3	21.1	20.3	16.8



(注)「借入」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計したものである。

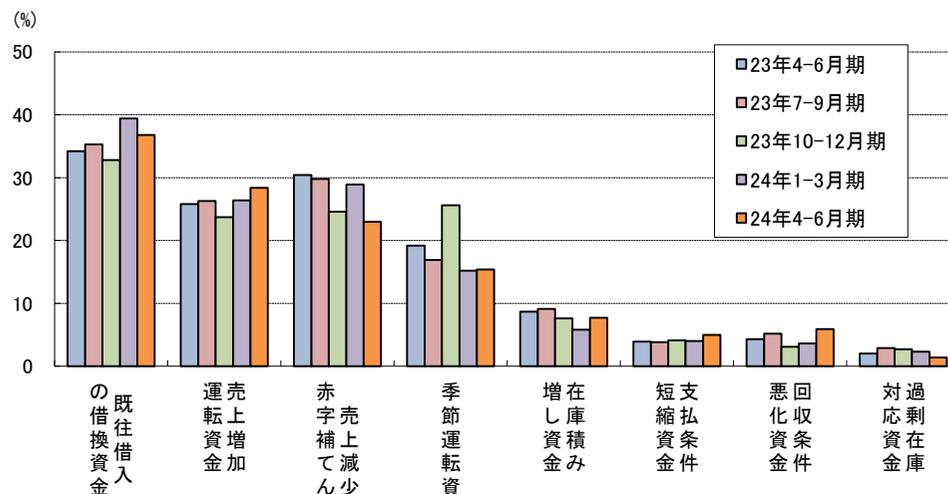
- ・資金使途の構成については、運転資金の割合はやや減少、設備資金の割合はやや増加した。
- ・運転資金の内訳では、「既往借入の借換資金」の割合がやや減少したものの、6期連続で最も高い割合となった。

③-1 資金使途の構成



③-2 運転資金の内訳（原数値）

		既往借入の借換資金	売上増加運転資金	売上減少・赤字補てん資金	季節運転資金	在庫積み増し資金	支払条件短縮資金	回収条件悪化資金	過剰在庫対応資金
24年	4-6月期	36.8	28.4	23.0	15.4	7.7	5.0	5.9	1.4
	1-3月期	39.4	26.4	28.9	15.2	5.8	4.0	3.6	2.3
23年	10-12月期	32.8	23.7	24.6	25.6	7.6	4.1	3.1	2.7
	7-9月期	35.3	26.3	29.8	16.9	9.1	3.8	5.2	2.9
	4-6月期	34.2	25.8	30.4	19.2	8.7	3.9	4.3	2.0



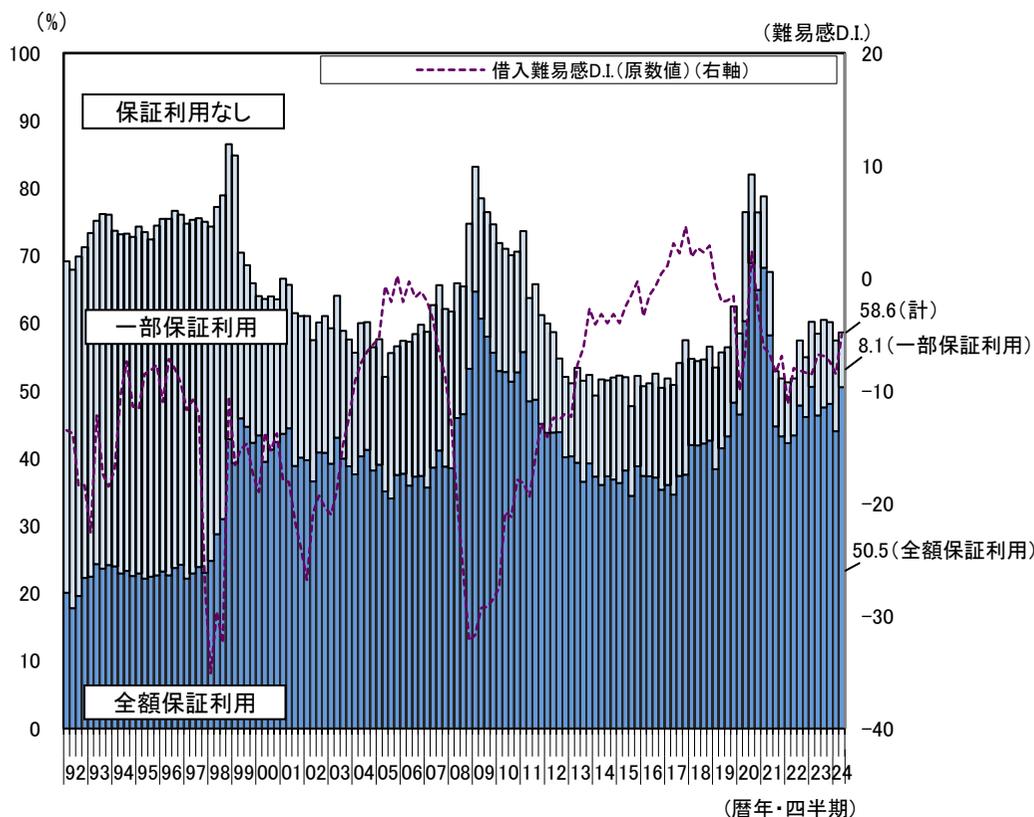
(注) 1.複数回答のため、合計は100%を超える。
 2.「資金使途」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計した借入金に係るものである。

(4) - 1 保証利用状況

・今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、やや増加した。

	2023/4-6	7-9	10-12	2024/1-3	4-6
当期に保証を利用した企業の割合	58.4	60.5	60.2	57.4	58.6
全額利用	46.4	47.5	48.1	44.0	50.5
一部利用	12.1	13.0	12.1	13.4	8.1
当期に保証利用がない企業の割合	41.6	39.5	39.8	42.6	41.4

借入企業に対する保証利用企業の割合(季節調整値)



(注)当該四半期中に新規借入を行った企業数について、「保証利用なし」、「保証付きの借入のみ(全額保証利用)」、「保証付きの借入と保証を利用しない借入を併用(一部保証利用)」の区分で集計したものの。

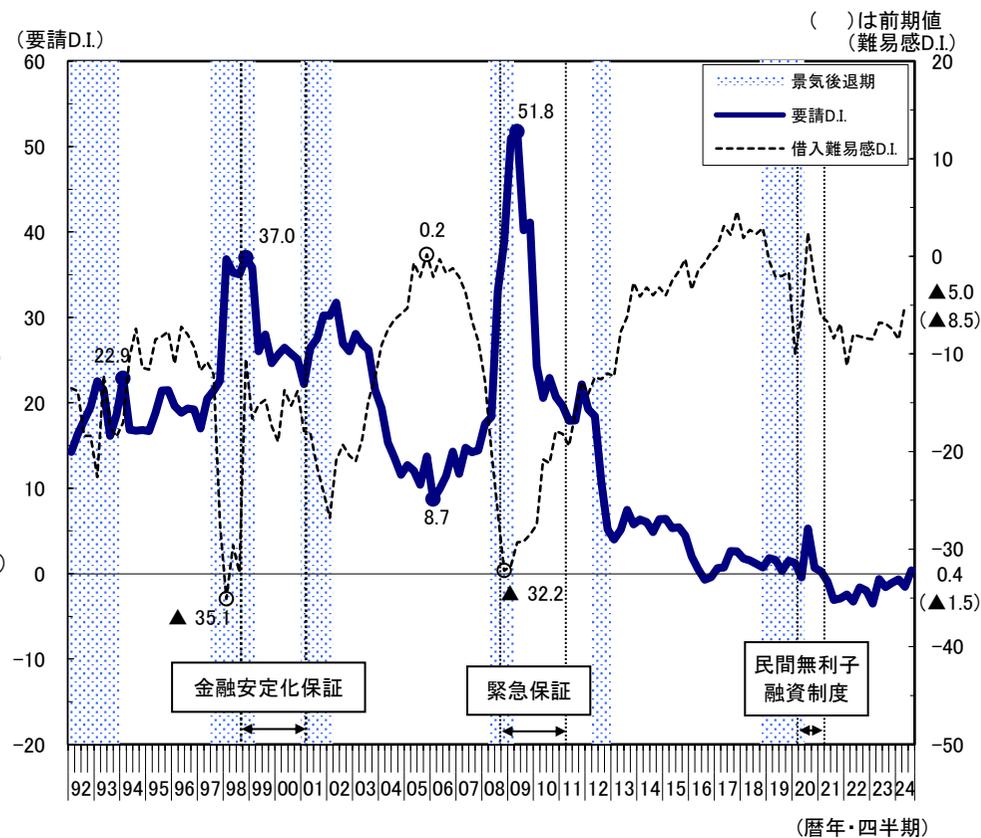
(4) - 2 金融機関からの保証利用要請

・来期(24年7~9月)における保証利用要請D.I.は、0.4とやや上昇した。

	2023/4-6	7-9	10-12	2024/1-3	4-6	7-9
要請D.I. 見通し	▲0.7	▲1.6	▲1.1	▲0.7	▲1.5	0.4
借入難易感D.I. 実績	▲6.8	▲6.9	▲7.4	▲8.5	▲5.0	

(注) 1.前期比。要請D.I.は、「強くなると思う」企業の割合-「弱くなると思う」企業の割合。季節調整値。
2.借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

金融機関からの要請D.I.(季節調整値)及び借入難易感D.I.の推移



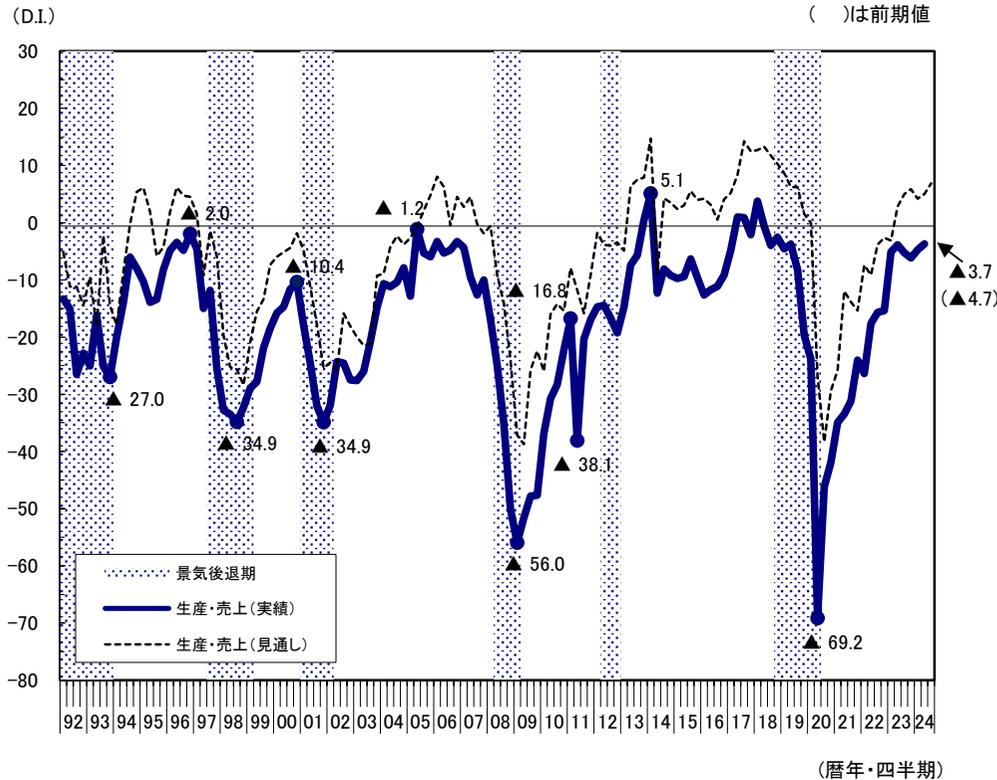
(5) 生産・売上

・生産・売上D.I.は、▲3.7とマイナス幅がやや縮小した。
来期の見通しについては、6.9となっている。

		2023/4-6	7-9	10-12	2024/1-3	4-6	7-9
生産・売上D.I.	実績	▲3.9	▲5.3	▲6.2	▲4.7	▲3.7	
	見通し	2.9	5.0	5.8	4.2	5.0	6.9

(注) 前期比。生産・売上D.I.は、「増加」企業の割合-「減少」企業の割合。季節調整値。

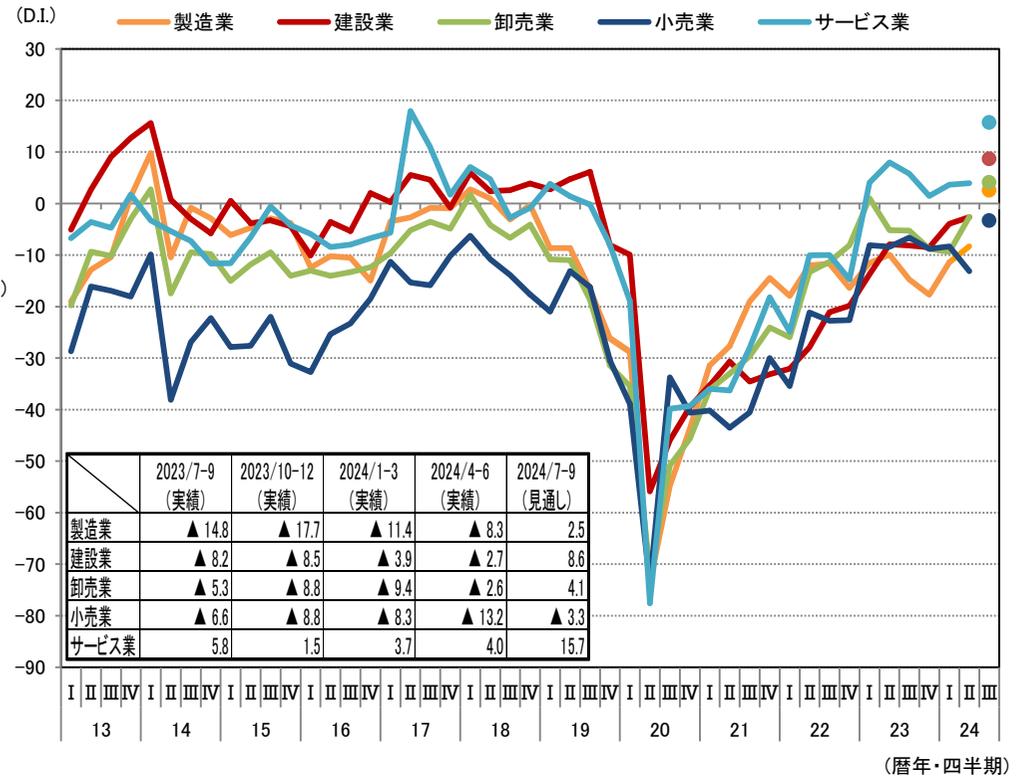
生産・売上D.I.(季節調整値)の推移



生産・売上(業種別)

・生産・売上D.I.(業種別)は、小売業を除く全ての業種で上昇した。

業種別生産・売上D.I.(季節調整値)の推移



(6) 採算

- ・採算D.I.は、▲12.1と横ばい。
- ・来期の見通しについては、▲0.8となっている。

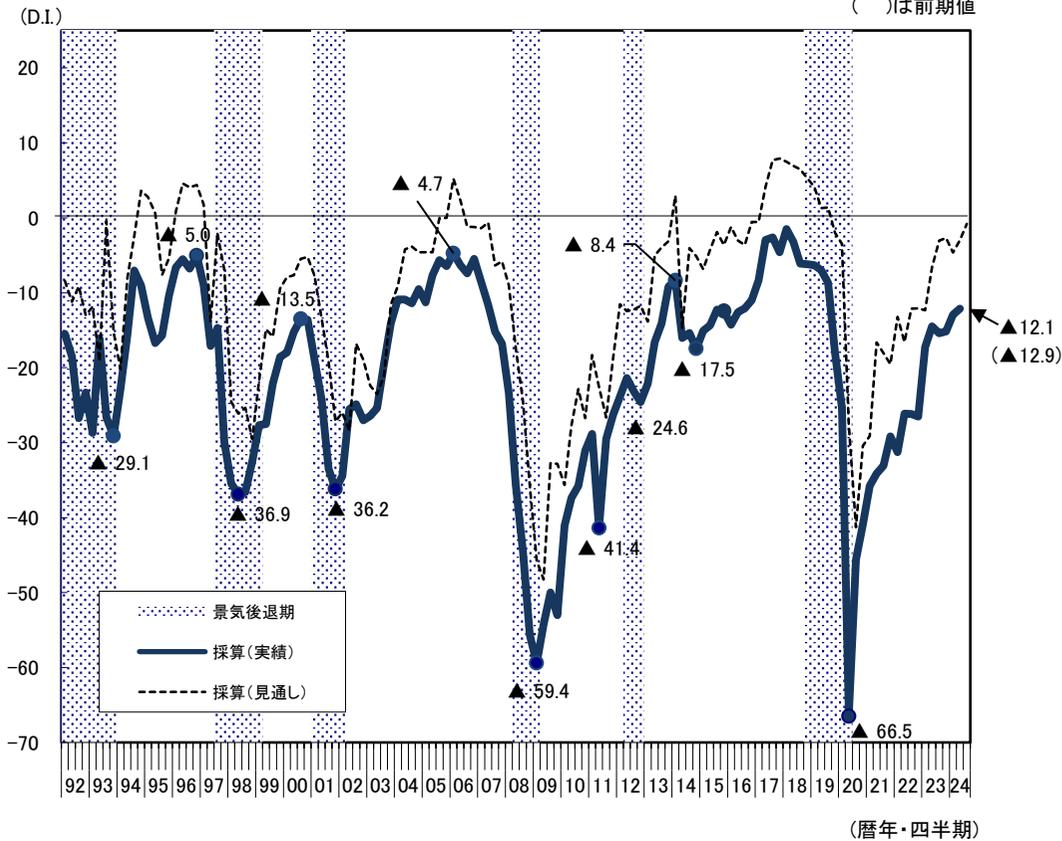
(参考) 保証利用割合

- ・借入総残高に占める保証利用の割合については、半分以上と回答した企業が64.2%となっている。

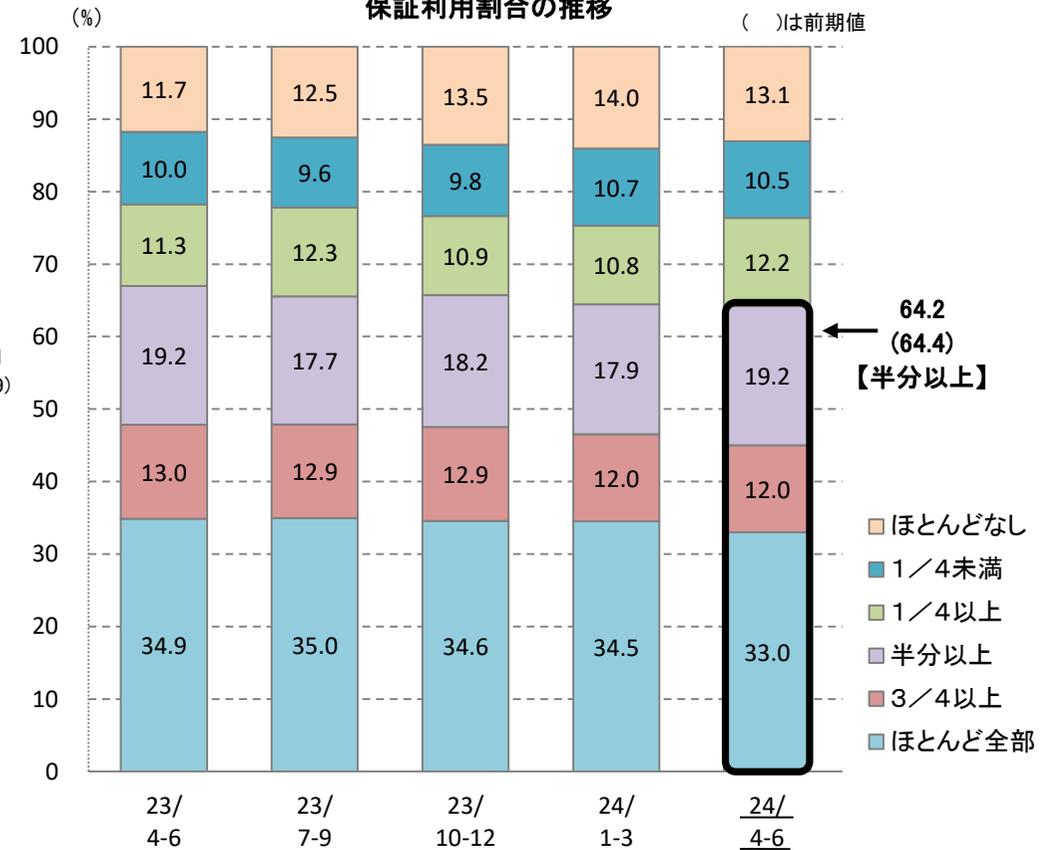
		2023/4-6	7-9	10-12	2024/1-3	4-6	7-9
採算D.I.	実績	▲ 14.5	▲ 15.4	▲ 15.2	▲ 12.9	▲ 12.1	
	見通し	▲ 6.6	▲ 3.0	▲ 2.7	▲ 4.6	▲ 3.0	▲ 0.8

(注) 前期比。採算D.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

採算D.I.(季節調整値)の推移



保証利用割合の推移



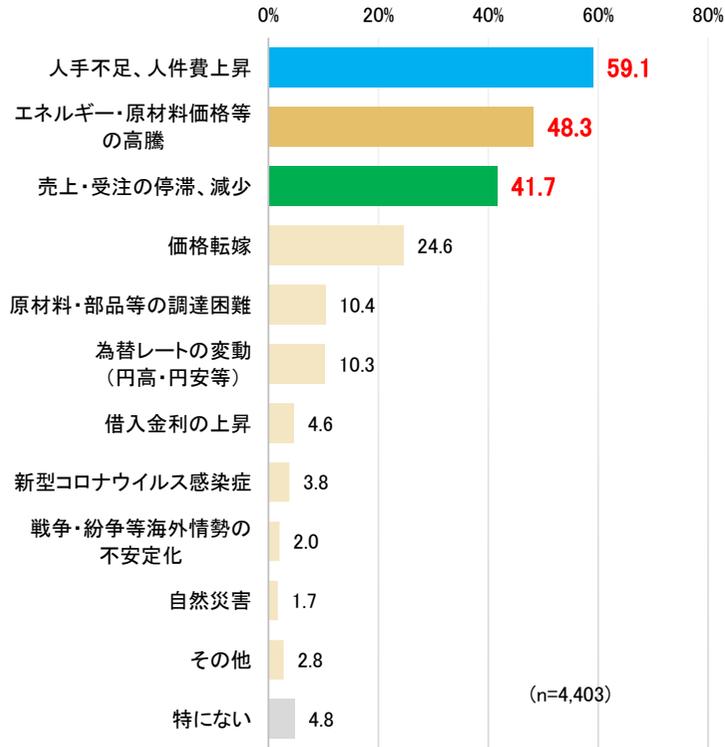
特別調査

経営環境において直面している課題及び信用保証協会による専門家派遣事業について

1. 経営環境において直面している課題について

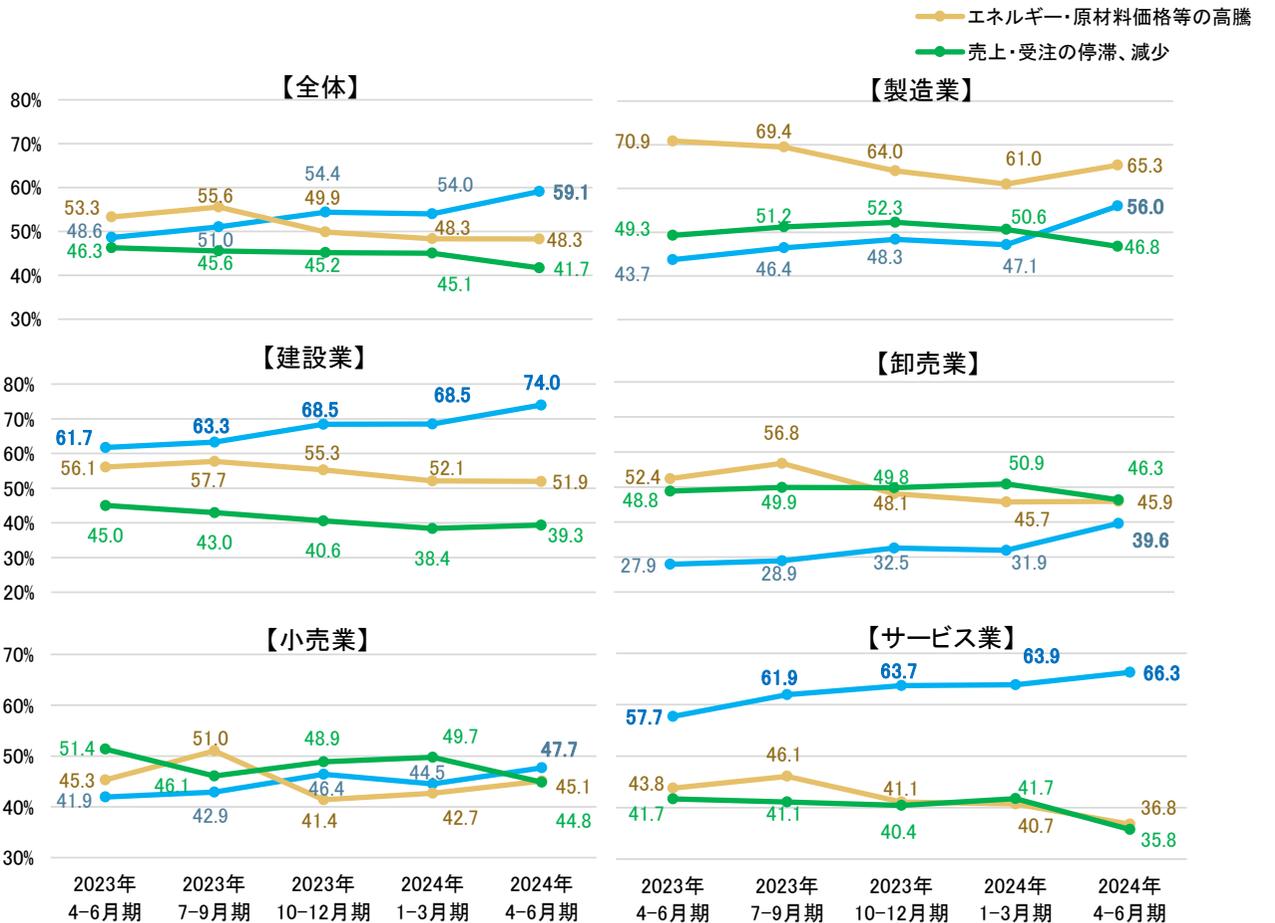
- ・2024年4-6月期の経営環境において直面している課題については、「人手不足、人件費上昇」(59.1%)が最も多く、次いで「エネルギー・原材料価格等の高騰」(48.3%)、「売上・受注の停滞、減少」(41.7%)の順となっている。
- ・業種別に課題の推移をみると、いずれの業種も「人手不足、人件費上昇」が前期と比べて上昇しており、小売業は今期、最も多くなった。建設業及びサービス業においては恒常的に多くなっている。

(1) 経営環境において直面している課題



(注) (1)、(2)は3つまで回答可のため、合計は100%を超える。

(2) 経営環境において直面している課題(上位3課題)【業種別】



特別調査

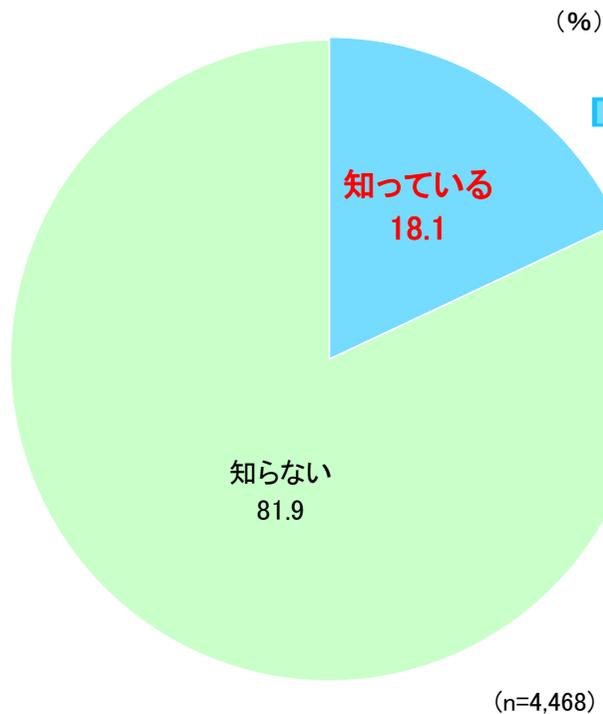
経営環境において直面している課題及び信用保証協会による専門家派遣事業について

2. 信用保証協会による専門家派遣事業について

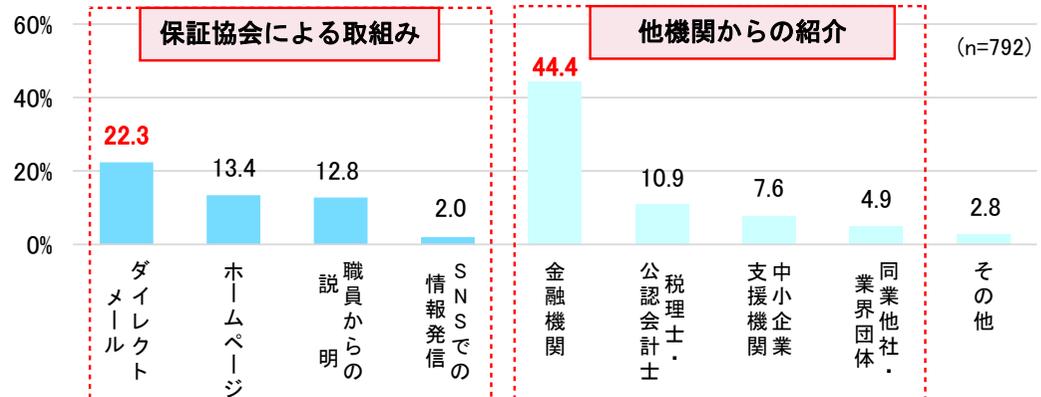
- ・専門家派遣事業*の認知度については、「知っている」が18.1%となっている。
- ・専門家派遣事業を知った経緯、どのようなきっかけがあれば知ることができたかについては、保証協会による取組みでは、ともに「ダイレクトメール」(経緯:22.3%、きっかけ:26.0%)が最も多く、他機関からの紹介では、ともに「金融機関」(経緯44.4%、きっかけ:43.1%)が最も多くなっている。

※ 本調査における専門家派遣事業とは信用保証協会(以下、「保証協会」という)による専門家派遣事業のことをいう。

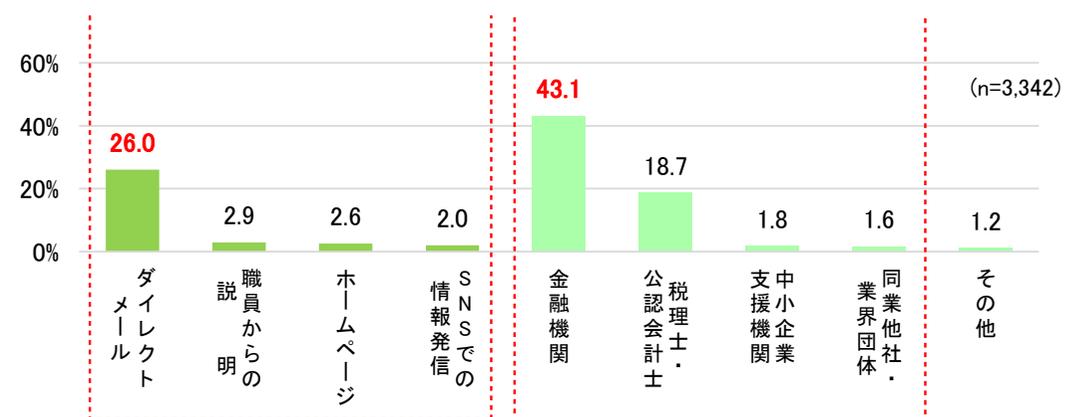
(1) 専門家派遣事業の認知度



(2) 専門家派遣事業を知った経緯((1)で「知っている」と回答した企業)



(3) どのようなきっかけがあれば知ることができたか((1)で「知らない」と回答した企業)



(注) (2)は複数回答のため、合計は100%を超える。(3)は単一回答。

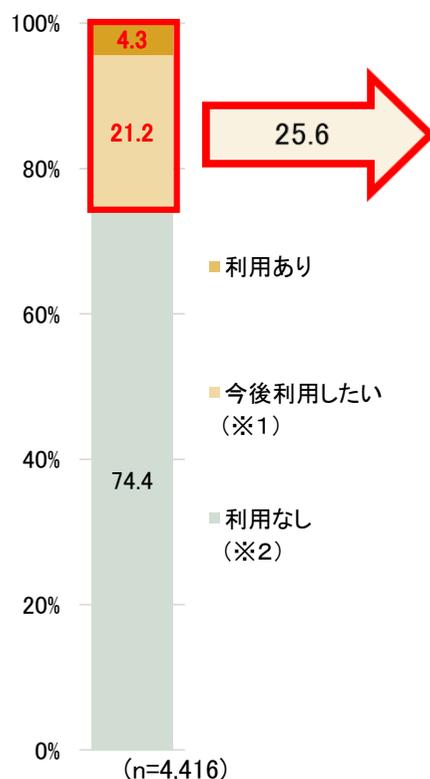
特別調査

経営環境において直面している課題及び信用保証協会による専門家派遣事業について

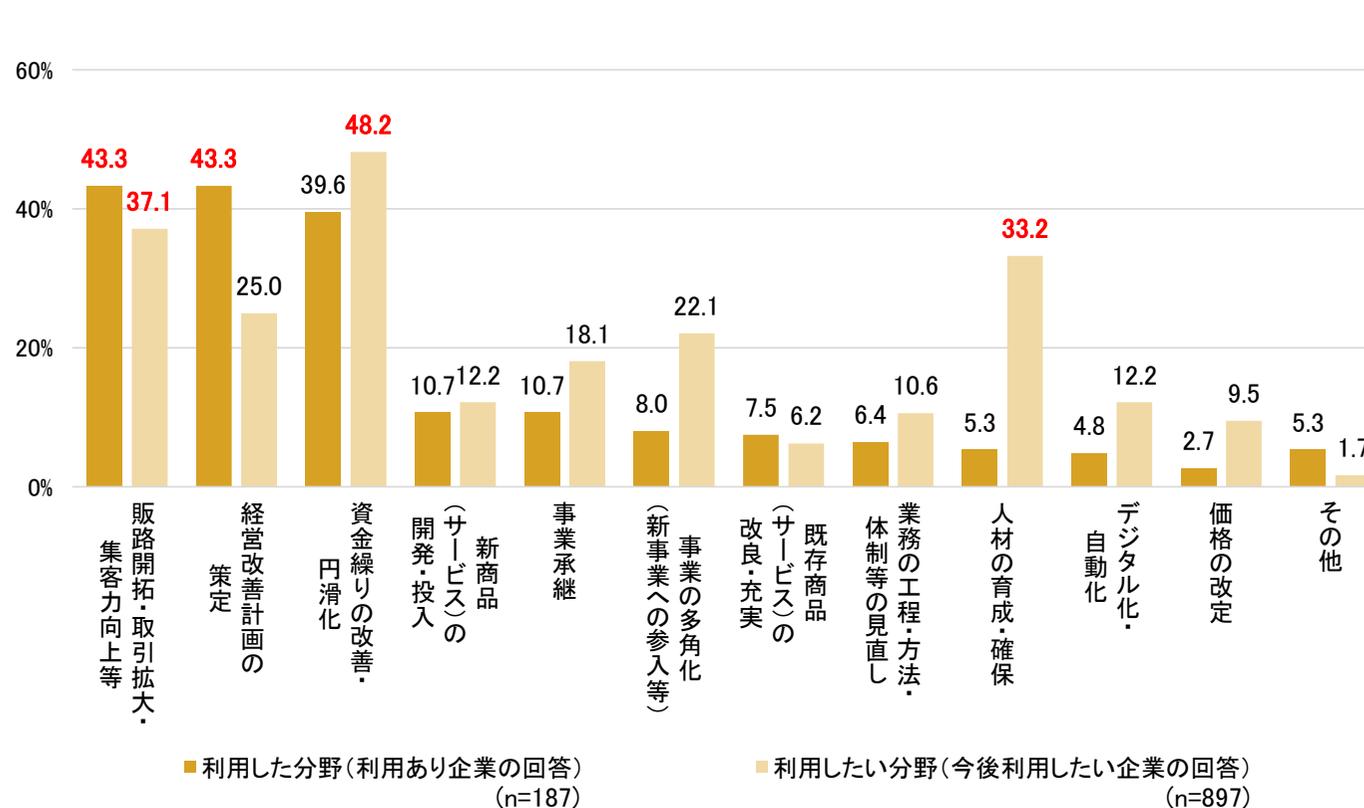
2. 信用保証協会による専門家派遣事業について

- ・専門家派遣事業の利用状況については、「利用あり」が4.3%、「今後利用したい」が21.2%となっている。
- ・専門家派遣事業を利用した分野については、「販路開拓・取引拡大・集客力向上等」及び「経営改善計画の策定」が43.3%と最も多くなっている。
- ・専門家派遣事業を利用したい分野については、「資金繰りの改善・円滑化」(48.2%)が最も多く、次いで「販路開拓・取引拡大・集客力向上等」(37.1%)、「人材の育成・確保」(33.2%)の順となっている。

(4) 専門家派遣事業の利用状況



(5) 専門家派遣事業を利用した分野、利用したい分野



(※1)「今後利用したい」: 利用したことはないが、今後利用したいと回答した企業 (以下同じ)。
(※2)「利用なし」: 利用したことがなく、今後利用する予定もないと回答した企業 (以下同じ)。

(注) (5)は3つまで回答可のため、合計は100%を超える。

特別調査

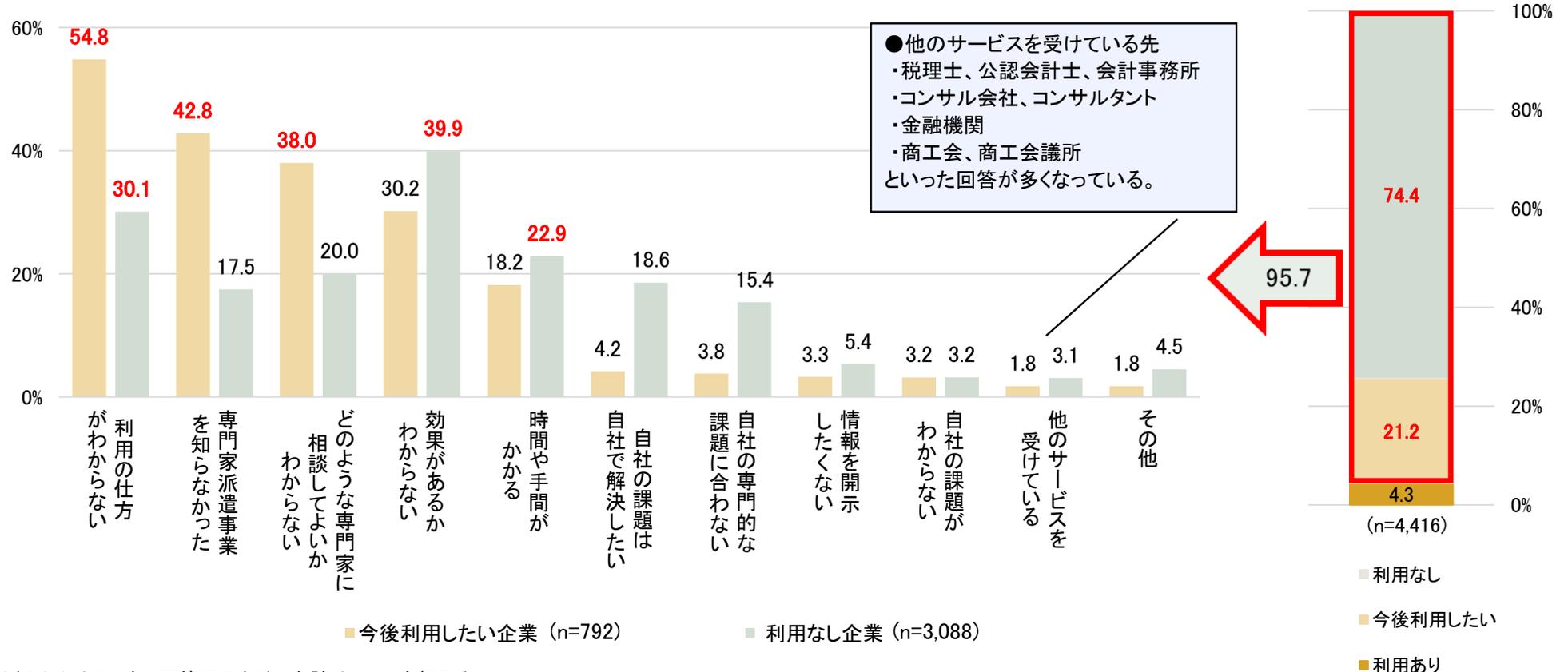
経営環境において直面している課題及び信用保証協会による専門家派遣事業について

2. 信用保証協会による専門家派遣事業について

・専門家派遣事業の利用状況別に利用したことがない理由をみると、今後利用したい企業については、「利用の仕方がわからない」(54.8%)が最も多く、次いで「専門家派遣事業を知らなかった」(42.8%)、「どのような専門家に相談してよいかわからない」(38.0%)の順となっている。一方、利用なし企業については、「効果があるかわからない」(39.9%)が最も多く、次いで「利用の仕方がわからない」(30.1%)、「時間や手間がかかる」(22.9%)の順となっている。

(6) 専門家派遣事業を利用したことがない理由【利用状況別】

(再掲) 専門家派遣事業の利用状況



(注) (6)は3つまで回答可のため、合計は100%を超える。

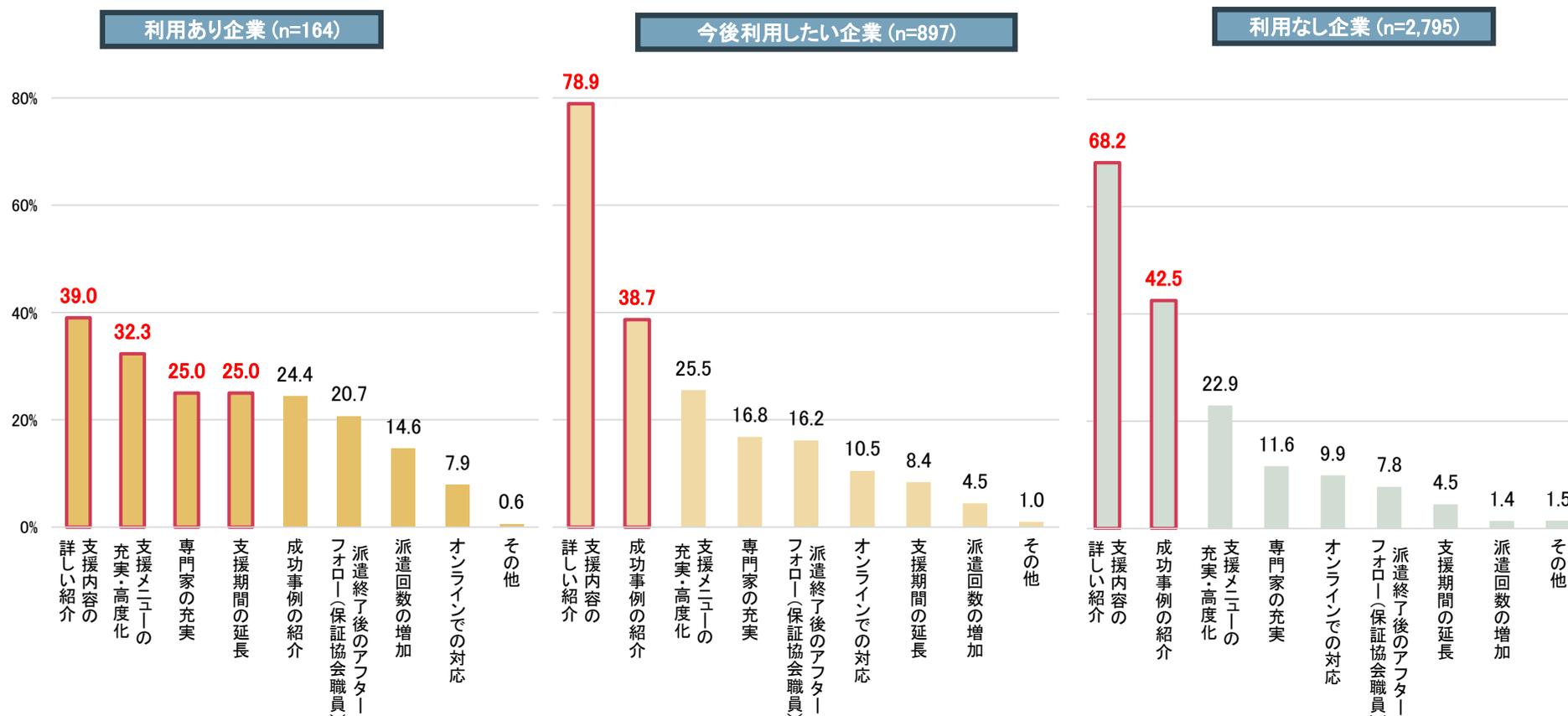
特別調査

経営環境において直面している課題及び信用保証協会による専門家派遣事業について

2. 信用保証協会による専門家派遣事業について

- ・専門家派遣事業の利用状況別に今後期待することをみると、利用あり企業、今後利用したい企業及び利用なし企業ともに、「支援内容の詳しい紹介」が最も多くなっている。
- ・利用あり企業については、「支援内容の詳しい紹介」に次いで、「支援メニューの充実・高度化」、「専門家の充実」、「支援期間の延長」が多くなっており、事業内容の拡充について期待されていることがうかがえる。
- ・今後利用したい企業及び利用なし企業については、「支援内容の詳しい紹介」に次いで、「成功事例の紹介」が多くなっており、支援内容や利用効果について関心が高いことがうかがえる。

(7) 専門家派遣事業について今後期待すること【利用状況別】



(注)(7)は3つまで回答可のため、合計は100%を超える。